科目名	成果発表							年度	2025
英語科目名	Senior Presentation							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義+演習
担当教員	石川和希	教員の実務経験		有	実務経験	角の職種	スポーツ	アパレルメーカー	

【科目の目的】

在学中に取り組んだプロジェクトや実習経験を発表して、その成果や学びを共有することを目的とする。学習成果の発表を通し て、在学中の学習達成度や改善点を確認しながら自分自身の学習評価に繋げる。

【科目の概要】

卒業展示会に向けた成果発表のための資料展示および発表準備を実施する。自分自身の専門分野や関心領域について専門知識や 技術力をデモンストレーションし、聴衆や企業に対して在学中に習得した知識やスキルを実践的な形で展示する。

【到達目標】

到達目標 A: 在学中の学習結果やプロジェクト成果の公表を通して、自身の成果を他者に伝える能力を養う。 到達目標 B: 聴衆や企業からの評価を受取り、これまでの学習の過程や成果を振り返り自身の学習評価の機会として役立てる。 到達目標 C: 成果発表を自身の興味や能力を確認する機会として活用し、自分の強みや興味を再確認しながら将来の進路やキャ リア展望を検討する。

【授業の注意点】

遅刻や欠席については学校に必ず事前連絡をするようにしてください。無断での遅刻や欠席は成績評価に影響するため注意して ください。授業内において教員から指示された検索作業等を行う場合以外は授業中の携帯電話の使用は基本的に禁止します。授 業内における私語、その他の不適切な行動について注意されたにも関わらず指示に従わない場合、授業進行の妨害行為とみなし て退出を命じることがあります。

評価基準=ルーブリック								
ルーブリック 評価	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1			
計加	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力			
到達目標 A	成果発表を通じて、自身 の成果を他者に伝える能 力を養い、成長した点や 改善の余地を自己評価す ることが出来る。		在学中の学習結果やプロジェクト成果を共有する ことが出来る。		到達目標の達成度として 不十分			
到達目標 B	習得した知識やスキルを 実践的な形で展示しなが ら、これまでの学習の過 をで放果を振り返り自身 の学習評価の機会として 役立てることが出来る。		習得した知識やスキルを 実践的な形で展示することが出来る。		到達目標の達成度として 不十分			
到達目標 C	成果発表から得た第3者からのフィードバックを、 自分のプレゼンテーションスキルや学習成果を改善するための貴重な情報源として自己啓発に繋げることが出来る。		成果発表を自身の興味や 能力を確認する機会とし で活用し、自分の強みや 興味を再確認しながら将 乗の進路やキャリア展望 を検討出来る。		到達目標の達成度として 不十分			

【教科書】

特になし

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果(中間/期末/定期的な提出物など)30%、授業中の参加 姿勢/学習意欲(リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など)30%、出席状況40%とし、授業内における 達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要と なります。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		成果発表					20	25
英語表記			Senior Pres	entation	学期	後	:期	
回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標=修得するスキル			自己評価
1	イントロダクション	授業目的の説明と担当グループ分け	2 成	は果発表の目的 は果発表内容の設定 □業工程の設定	学習成果における自己評価と発表ポイントの整理 具体的なデモンストレーション方法の選定 計画的な発表資料作成スケジュールの設定			
2	展示資料の集約と 発表内容の具体的 検討	展示資料・作品の準備	2 展	全習成果の整理 最示方法の選定 最示資料の作成	学習成果内容の収集と選択 展示方法の検討と展示準備 展示に向けた資料作成			
3	展示資料の集約と 発表内容の具体的 検討	展示資料・作品の準備	2 展	学習成果の整理 最示方法の選定 最示資料の作成	学習成果内容の収集と選択 展示方法の検討と展示準備 展示に向けた資料作成			
4	展示資料の集約と 発表内容の具体的 検討	展示資料・作品の準備	2 展	全習成果の整理 会示方法の選定 会示資料の作成	学習成果内容の収集と選択 展示方法の検討と展示準備 展示に向けた資料作成	方法の検討と展示準備		
5	展示資料·作品作 成	展示資料・作品の準備	1 展	景示資料の作成作業	展示に向けた資料作成			
6	展示資料·作品作 成	展示資料・作品の準備	1 展	景示資料の作成作業	展示に向けた資料作成			
7	展示資料·作品作 成	展示資料・作品の準備	1 展	景示資料の作成作業	展示に向けた資料作成			
8	展示資料·作品作 成	展示資料・作品の準備	1 展	そ示資料の作成作業	展示に向けた資料作成			
9	展示資料・作品の 中間確認	展示資料・作品の準備	1 展	景示資料の作成作業	準備資料・作品のクラス内評価と改善点の抽出		2	
10	展示資料・作品の最終調整	展示資料・作品の準備	1 展	是示資料の作成作業	展示に向けた資料作成(最終調整)		2	
11	展示資料・作品の最終調整	展示資料・作品の準備	1 展	表示資料の作成作業	展示に向けた資料作成(最終調整)			
12	展示準備	完成資料・作品の展示 作業	1 展	号示準備作業	展示資料・作品の完成後提出		2	
13	展示	展示活動	2 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	表示・会場対応 イイードバックと自己評 に いるで限界点と改善点の 解	展示会場での来場者とのコミュニケーション 来場者からのフィードバックに基づく自己評価 展示成果に対する改善点の明確化			
14	展示	展示活動	2 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	表示・会場対応 イードバックと自己評 i 示の限界点と改善点の 解	展示会場での来場者とのコミュニケーション 来場者からのフィードバックに基づく自己評価 展示成果に対する改善点の明確化			
15	展示	展示活動	2 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	表示・会場対応 マードバックと自己評 言 表示の限界点と改善点の	展示会場での来場者とのコミュニケーション 来場者からのフィードバックに基づく自己評価 展示成果に対する改善点の明確化		2	

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等